

一日目はまずディレクトフォースと笹川平和財団のみなさんのお話を伺いました。最初の全体講和では、近藤玄大様からモノづくりに関するお話を聞かせていただきました。近藤様は大学時代の研究から会社を設立し、義手を低価格で人々に届けようと尽力された方です。お話の中で印象に残ったのは、「個人を大切にしたいモノづくり」を目指して義手づくりをしたということです。これの一環として、義手の見た目を本物の人間の手のようにするのではなくロボットの一部のようにしたそうです。これは義手を隠すものではなく、あえて個性として表現しているものにしたいという考えからだそうです。また、歌手の方のライブで手を振るパフォーマンスをしたいという願いに合わせてライブ用の義手を作るなど、個人を大切にしたいモノづくりをしたという。このお話から私は大量生産大量消費が一般的となっている世の中でも一人ひとりの個人を考えたモノづくりをする大切さを学びました。

続いてディレクトフォースや笹川平和財団行使の講師の方との意見交換会が行われました。国際社会で活躍されている方々と話すということで、自分にはわからないようなことをいくつも質問されるのかなと身構えていたのですが、みなさんととても気さくで話しやすかったです。最初に私は、今までに行ったことのある最も低いところだと質問されたので、海ですと答えました。すると講師の方は、地下鉄はどうだいとおっしゃいました。私は地下鉄という考えが全くなかったのなるほどと、納得させられました。講師の方が言うには、人が物事を考える際日常的なことは考えに含めないそうです。しかし、そういったものを考慮して物事を考えることができれば、多角的な視点を持つことができるのだとおっしゃられました。私はこのことから物事を決めつけずに様々なことを考えて、行動に移していこうと感じた。また、何か物事を考えるときにひとつ意見のみを参考にするのではなく、反対意見や中立の立場をとった意見を見て、自分の考えを持った方がいいということをおっしゃっていただきました。そしてみなさんが口をそろえておっしゃっていたこととして海外の方と関わるのが大切だということがありました。それは、それぞれの国特有の価値観や考え方に触れることで、海外のことも日本のことも学ぶことができるからということでした。これからの国際化が進む世界で活躍する人間になるために重要なことのひとつだなと感じました。最後に海外に行くうえでは、外国の方に対して敬意をもって謙虚な気持ちで関わること、なまりなどがない正確な英語をはなすこと、異なる生活を送るために丈夫な体を作ることが大切だと学びました。貴重なお話を聞くことができ、様々な知識を得ることができました。

午後は企業訪問に行きました。私は、外務省に訪問させていただきました。外務省につくと、警備員の方が厳重な警備をされており、これが日本の外交のトップかと思っても緊張しました。中に入るとまず記者会見室に案内されました。実際にテレビで見るところに自分がいると思うとなんだか不思議な感じでした。次は会議室に案内されました。会議室

では外務省についての説明をいただき二高OBの方に担当が変わりました。OBの方は小さい頃から外交官を目指しており、ウガンダやトロントに渡航して海外の方と関わることで視野が広がったそうです。外務省の課の中では一人一人が、それぞれの国を担当しているのだそうです。個々の責任は大きいですが、自分で一国を担当できるのはとても魅力的だなと感じました。最後に質疑応答がありました。世界と関わる上での意識として、外国の日本と異なる文化や行いを理解して違いにも対応できるようにしているそうです。また、海外の方と仕事をする際、円滑に会話ができるように何か話題を持っておくことが大事だと教えていただきました。最後に外交官と在外公館はどのように連携しているのかとお聞きしました。外務省は在外公館から送られてくる報告書で情報を共有しており、外務省では主に会議で話す内容について発信しているのだと教えていただきました。他に外務省の方の担当する課が短期間で変わる理由等にも答えていただきました。外務省は日本国内にいながら海外と関わるができる素晴らしいところであると感じました、一時間という短い間でしたが非常に有意義な時間を過ごすことができました。

夕食後は二高のOB、OGの方々との座談会があり、お話を聞かせていただきました。現在衆議院議員をなさっている方からは、目標を常に高く持つことが重要であるということをお話いただきました。人間はできるならやるといったなんとなくの考えでは本来の力を発揮できないから明確な目標を持つことが重要だということでした。また、たとえ目指す大学に合格したとしても、そこで終わってしまえば大学までの人になってしまうため、大学では信念をもって取り組むことが重要だと教えていただきました。自分は、二高に合格して少し無気力になってしまっていたところがあったので、しっかりとした目標、信念を持つと思いました。東大法学部の先輩からは、科目選択は自分の得意教科ではなく、自分の好きな教科を選んだ方が良いということをお話いただきました。興味のない教科を選んだ場合はやる気が出ずに挫折してしまうことがあるので、興味のある教科を選び、精いっぱい頑張った方が良いとのことでした。また、主要な教科、特に英語の受験に向けた勉強方法を教えていただきました。英語は音読を中心とした勉強をし、間違いを怖がらずに発音をすることが大事だと教えていただきました。自分は英語を苦手としていたので、具体的に教えていただきこれからの勉強の仕方を考えることができました。他にも今回の会では二高在学中の話や一人暮らしを始めた話などユーモアのある面白い話も聞かせていただきました。私も将来二高OBになった時には先輩として後輩たちにアドバイスができるようなOBになりたいと思います。

二日目私はホテルを出て、東京大学に向かいました。東大は非常に大きく、日本のトップにふさわしい雰囲気がありました。図書館は洋書のみで階があるほど広く、本が好きな私にはたまらないところでした。近くのホールでは、進路についてのグループワークがありました。私は将来のことをあまりイメージできていなかったのですが、東大生の方が自分の夢や高校時代に取り組んでいたことなどを話してくださったり、グループで一緒に話し合ったりしてくださったのでなんとなく自分の将来についてのイメージを持つことがで

きました。昼食後本郷キャンパスに向かいました。法学部の模擬授業では、法学部がどのような感じなのか、治外法権がどのようにはたらくのかを知ることができよい学びとなりました。

私は今回の企業大学訪問で今まで考えたこともなかった考え方や人生観に触れることができ、自分の視野を広げることができました。この二日間はほんの一瞬のようであり同時に忘れられない自分が大きく成長できた時間でもありました。今回得たことは一つも無駄にすることなく、これからの自分に生かしていきたいと思います。最後になりますが、私たちに様々なことを教えてくださった皆さん本当にありがとうございました。